

学校法人理知の杜
豊橋日本語学校

令和 7 年度
自己点検・評価

実施：令和 8 年 4 月 1 日

当校は、日本語教育機関の告示基準第 1 条第 1 項第 18 号および日本語教育機関の告示基準解釈指針に基づき、自己点検及び評価を行い、報告書として本書を作成し公表する。

報告書の作成に当たり、自己点検・評価項目のリストは、日本語教育振興協会の「日本語教育機関のための自己点検・評価項目（改訂版）」（平成 30 年 6 月 5 日）を参考にした。

各点検・評価項目は以下の 5 段階で評価を行う。

A：「達成されている」若しくは「適合している」

B：「概ね達成されている（適合している）が、不十分なところが残っている」

C：「未達成（未適合）」だが、「達成」若しくは「適合」になるために取り組んでいる

D：「未達成」若しくは「適合していない」今後の課題である

X：該当しない

1. 理念・教育目標

1-1 理念、及び教育目標
国際社会においてはさらなるグローバル化が進んでいるが、その中で必要不可欠なことは、国家間の平和的かつ友好的な関係の構築であり、民間（一般）レベルでの深い相互理解もその一端を荷っていると考えている。日本語の修得を希望する海外の優秀な人材を受け入れ、日本語教育を通して日本に対する深い理解と深い相互理解の下に国際交流が図られる人材を育成し、日本のこれからの発展に貢献できる人材を育てる。
1-2 育成する人材像
日本語で「話す」「聞く」「読む」「書く」ことを修得し、不自由なくコミュニケーションが図れるような能力を育成すると同時に、日本の「文化」「習慣」等も教授し、日本に対する深い理解を持てるような人材を育成したい。

[A]1-3 理念、教育目標及び育成する人材像が、教職員及び学生に周知されているか。

[A]1-4 理念・教育目標が社会の要請に合致しているか。

まとめ	課題及び改善内容
教職員、学生に周知されている。学生には、「学校の5つの願い」として教室に掲げ、理念・教育目標を意識させている。また、ホームページに掲載をして学外にも発信している。	上記理念、教育目標に沿った教育活動に一層取り組んでいきたい。

2. 学校運営

[A]2-1 理念・目標・目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか。

[A]2-2 組織運営や人事、財務管理の規定が整備されているか。

[B]2-3 教職員の採用・定員管理・研修並びに評価は適切に行われているか。

[A]2-4 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確であるか。

[A]2-5 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがあるか。

[A]2-6 意思決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能しているか。

[A]2-7 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っているか。

[A]2-8 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っているか。

[A]2-9 業務の見直し及び効率的な運営の検討が組織的に行われているか。

まとめ	課題及び改善内容
策定された方針や計画に沿って組織的な学校運営を進めている。また、教務会議を毎週定期的に開催することで、意思決定や情報共有、問題点の把握とその解決に向けた動きなどが組織化されてきた。なお、外部からの情報は共有している。また、今年度は認定校申請を行う予定のため、さらにしっかりと学校運営を目指していきたい。	法人事務局との連携を強化し、より一層効率的な学校運営を目指していきたい。また、教職員のコンプライアンス意識は守られているが、研修会を開催する等で今まで以上にさらに高めていくようにしたい。

3. 教育活動

(1) 教育活動の計画

- [A]3-1-1 日本語教育機関の告示基準が守られているか。
- [A]3-1-2 理念・教育目標に合致したコース設定をしていて、教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成されているか。
- [A]3-1-3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしているか。
- [A]3-1-4 教育目標に合致した教材を選定しているか。
- [B]3-1-5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか。
- [A]3-1-6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られているか。

まとめ	課題及び改善内容
教育課程について、掲げる教育目標に合わせ期ごとに学習内容を吟味し、共通理解が導かれるよう連携を重要視してきた。使用教材についても学生たちの学習意欲が高められるよう厳選し選定した。	今後もカリキュラムの編成について「日本語教育の参照枠」等を教員間で熟知した上で、より良いものにしていきたい。また、著作権等の留意すべき事項については、勉強会を開く等で取組んでいきたい。

(2) 教育活動の実施

- [A]3-2-1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか。
- [B]3-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴、その他、指導に必要な情報を伝達している。
- [B]3-2-3 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか。
- [A]3-2-4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか。
- [A]3-2-5 理解度・到達度の確認を実施期間中に適切に行っているか。
- [A]3-2-6 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか。

まとめ	課題及び改善内容
授業記録及び出席簿を有効に活用して、学生の学習状況の把握に努めた。プレースメントテストの結果で、日本語能力に合わせたクラス編成を行った。また、定期試験の結果に合わせ、適宜適切な指導を行った。	学生のニーズを把握し、対応できるようにさらに工夫したい。また、すべてのクラスにおいて常に学習目標を意識した指導ができるように教員の力量向上を図っていきたい。

(3) 教育活動を担う教職員

- [A]3-3-1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めているか。
- [B]3-3-3 教員の指導力向上のための取り組みを行っているか。

- [A]3-3-4 生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を定めているか。
- [A]3-3-5 入管事務担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限を定めているか。
- [A]3-3-6 出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置しているか。
- [A]3-3-7 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化しているか。
- [B]3-3-8 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っているか。
- [A]3-3-9 教員及び職員の評価を適切に行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
限られた人数ではあるが、役割分担を明確化し、担当者がそれぞれの職務に当たっている。また、学校全体としての協力体制も構築している。	新任教員を中心とする教員の指導力向上等のため、経験豊かな教員の力や外部の研修等を利用して定期的に研修を行っていききたい。

4. 学修成果

(1) 成績判定と授業評価

- [A]4-1-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われているか。
- [A]4-1-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか。
- [A]4-1-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか。
- [A]4-1-4 学生による授業評価を定期的実施しているか。
- [B]4-1-5 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されているか。

まとめ	課題及び改善内容
定期的なテストを中心に成績判定を適切に行ってきた。しかし、作文や会話の試験は担任の主観となる部分が少なからずある。	作文や会話試験の判定方法や試験方法に改善の余地がある。今後も定期的に学生による授業評価を実施し、教員の授業能力の改善につなげたい。

(2) 教育成果

- [A]4-2-1 入学から修了・卒業までの学習成果を記録、保管し、適正に管理しているか。
- [A]4-2-2 修了・卒業の判定を適切に行っているか。
- [A]4-2-3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握しているか。
- [A]4-2-4 卒業又は修了後の進路を把握しているか。
- [B]4-2-5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先等での状況や社会的評価を把握しているか。

まとめ	課題及び改善内容
成績等の記録は適正に保管できている。	今後も進学先等の状況をしっかり把握していく。

(3) 進路に関する支援

- [A]4-3-1 学生の希望する進路を適切に把握しているか。
- [A]4-3-2 進学等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか。

[A]4-3-3 入学時から一貫した進路指導を行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
<p>入学時より面談及び進路希望調査を実施し、学生の希望する進路を適切に把握している。加えて、在学中も定期的に個別面談等を行い、進路希望や学習状況の確認に努めている。</p> <p>進学等の進路に関する最新資料については、募集要項、学校案内等を常時更新し、学生が自由に閲覧できる状態としている。また、専門学校や大学の入試担当者を招き、学校説明会を4月から6月までの間、ほぼ毎週実施している。</p> <p>進路指導は進路説明、個別相談、出願書類作成支援等を通じて、学生の希望進路の実現に向けた指導を継続的に実施している。</p>	<p>課題として、一部の学生において進路意識の形成が遅れる場合があるため、早期からの動機付けや継続的な情報提供をさらに充実させる必要がある。</p> <p>改善内容として、入学時からの進路指導体制を一層強化し、個別面談の実施、進路資料の整理・更新、進学情報の周知を通じて、学生が主体的に進路選択できる環境整備に努める。</p>

5. 学生支援

(1) 学生支援

[A]5-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか。

[A]5-1-2 学習相談に対する支援体制が整備されているか。

[A]5-1-3 進路に対する支援体制が整備されているか。

[A]5-1-4 留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に日本での生活指導等の支援体制が整備されているか。

[A]5-1-5 住居支援を行っているか。

[A]5-1-6 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか。

[A]5-1-7 健康管理、衛生管理について支援する体制を整えているか。

[A]5-1-8 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入しているか。

[A]5-1-9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応及び感染症発生時の措置を定めているか。

[A]5-1-10 交通事故等の相談体制を整備しているか。

[A]5-1-12 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的に行っているか。

[A]5-1-13 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知しているか。

まとめ	課題及び改善内容
<p>常に学生に寄り添った支援体制を進めてきた。</p> <p>学習・進路については、進路指導担当者を中心に学生の進路支援体制を整備している。個別面談、情報提供、出願支援、面接指導等を継続的にを行い、学生が適切に進路選択できるよう支援している。</p>	<p>学習・進路については学生によって進路意識に差があるため、個別面談や情報提供をさらに充実させ、早期から進路を考えられるよう支援体制の強化を図る。</p> <p>また、今年も各校区で開催される防災訓練に継続して参加していく。より多く</p>

<p>また、従来、学校での避難訓練は実施してきたが、住居で災害があった想定での訓練は一部できていなかったため、初の試みとして自治体と連携して各校区で開催される防災訓練に教職員の引率で学生たちを参加させ、防災の知識や避難経路を学ぶ機会を作った。</p>	<p>の学生が避難訓練に参加するよう、学生たちに早くから周知を行うとともに、発災時に自分で身を守ることの重要性を伝える。訓練参加を通じて学生たちに地域住民の一員としての自覚を促すとともに、実際に想定して避難活動ができる体制をさらに構築していく。</p>
---	--

(2) 入国・在留に関する指導及び支援

- [A]5-2-1 入管事務担当者は、研修受講等により適切な情報取得を行っているか。
- [A]5-2-2 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っているか。
- [A]5-2-3 在留上、問題のある学生への個別指導を行っているか。
- [A]5-2-4 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っているか。
- [B]5-2-5 過去2年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか。

まとめ	課題及び改善内容
<p>入管事務担当者が、入国・在留手続き等入管からの留意点、変更点の情報収集を適切に行っている。学生にも随時情報共有を行った。</p> <p>問題がある学生には教職員が指導するだけでなく、学生自身で入管へも電話にて報告させた。エージェントにも情報を共有し、入国前からの指導も徹底するよう一体となって取り組んだ。</p> <p>担任が毎月給与明細を提出させ、アルバイト状況について教職員間で共有するとともに、学校としてアルバイト調査票と相違ないか毎月チェックを行ってきた。</p>	<p>今後も入管をはじめ関係機関から情報を収集し、学生への指導や入国・在留手続きを行っていく。</p> <p>なお、アルバイトの管理とルールの徹底をさらに強化していく。</p>

6. 教育環境

- [A]6-1 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されているか。
- [A]6-2 教室、その他の施設は「日本語教育機関の運営に関する基準」及び「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか。
- [A]6-3 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されているか。
- [B]6-4 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能であるか。
- [A]6-5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保しているか。
- [A]6-6 同時に授業を受ける学生数に応じたトイレを設置しているか。
- [A]6-7 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状であるか。

まとめ	課題及び改善内容
限られたスペースを最大限活用して、学生が勉強に集中できるように、安心・安全な教育環境作りを目指している。	図書室を利用する学生が少ないため、学生のより一層興味を引くような図書を取りそろえるとともに、自ら日本語の本を手にとって読むような自発性も育成したい。

7. 入学者の募集と選考

- [A]7-1 入学者の募集は、学生の受入方針に基づき適切に行われているか。
- [A]7-3 入学志願者に本校の学校情報，求める学生像，及び応募資格と条件等が正確に伝えられているか。
- [A]7-4 海外の募集代理人（エージェント等）に正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握しているか。
- [A]7-5 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っているか。
- [A]7-6 入学志願者の学習能力，勉強意欲，日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか。
- [A]7-7 入学検定料，入学金，授業料，その他納付金の金額及び納付時期，並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されているか。
- [A]7-8 関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ，公開されているか。

まとめ	課題及び改善内容
募集要項に記載の募集選考に関する情報だけでなく、入国後の経費支弁等入管からの留意点についても担当者がエージェントに正確に伝えている。新たに学校案内のパンフレットを日本語と英語で作成し直し、カリキュラム等を学生にもしっかり理解してもらった上で入学選考を行った。	学生募集の時期以外にもエージェントと密に連絡を取り、募集活動の幅を広げたい。 7-4について、同じ学校法人内にある日本語学校と当校とどちらの学校の入学選考試験を受けているのか分かっていない志願者がいたため、他のグループ校との違いを明確に説明していく。

8. 財務

- [A]8-1 財務状況は、中長期的に安定しているか。
- [A]8-2 予算・収支計画の有効かつ妥当なものとなっているか。
- [A]8-3 適正な会計監査が実施されている。
- [A]8-4 財務情報の公開の体制はできているか。

まとめ	課題及び改善内容
財務については、学校法人事務局と連携の上、適正な予算に基づき、収支計画に沿って管理・運営を行う。	予算を踏まえた教育活動を推進し、計画的かつ健全な財務運営に努める。

9. 法令遵守

- [A]9-1 出入国管理及び難民認定法令等の遵守と適切な運営がなされているか。
 [A]9-2 個人情報保護のための対策をとっているか。
 [A]9-3 地方出入国在留管理局，その他関係官公庁等への届出，報告を遅滞なく行っているか。

まとめ	課題及び改善内容
入管法及び人権擁護の観点に基づき関係法令を遵守し、適正な運営を行っている。あわせて、各種届出及び報告についても遅滞なく実施している。	今後も一層法令遵守に留意し、現行の取組を継続の上、適切な運営状況の維持に努める。

10. 地域貢献・社会貢献

- [B]10-1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか。
 [C]10-2 学生ボランティア活動への支援を行っているか。
 [D]10-3 公開講座等を実施しているか。

まとめ	課題及び改善内容
<p>昨年は従来に比べて地域との関りや、地域の一員という視点を強く打ち出し、本校において豊橋市内の高校生と本学学生の交流を行ったほか、中学校の要請に応じて英語が堪能な学生たちを英語の授業に特別講師として参加させた。これらの活動に本校教職員も関わった。</p>	<p>今年も豊橋市内の中学校や高校と交流を図っていく。特に、7月下旬には市内の高校生数名をインターンシップとして受け入れる計画であり、高校生に日本語学校や国際化について理解してもらうとともに、本校学生にも多様な日本人や日本語に触れる機会を与える。</p> <p>また、今年開催されるアジア大会に向けて、本校学生が講師として地元の学校へ出向き、自国の紹介を行うことも豊橋市から昨年ご提案いただいている。こうした活動にも積極的に参加していきたいと考えている。</p>